



今週のプログラム

(2015年4月16日 第788回 例会)

卓話: 「闘病記」
担当: 相原 正雄会員

次回のプログラム

(2015年4月23日 第789回 例会)

卓話: 「三度留学生を迎えて」
担当: 山本 友亮会員

第 787 回例会 (2015年4月9日) の記録

<ロータリーソング>

我らの生業

<本日のビジター>

Warren Smith 様 Durham Great Bay RC
村田 紀和様 大阪行岡医療大学 教授
<会長挨拶> 高尾会長

ロータリー米山記念奨学会について

2015年4月8日(水)16:00より、米山奨学生オリエンテーションに、カウンセラーの藤田会員と参加してきました。米山奨学生は肖 致岑(ショウ ミンツン)君で国籍は中国・大阪大学修士生で、研究テーマは「硫黄修飾ガラス担持型パラジウムの開発」です。指導教官の大阪大学教授、藤岡弘道氏も出席して頂きました。肖君と少し話をさせて頂きましたが、真面目な好青年であると感じました。千里メイプルRCは2002年より多くの奨学生のカウンセラーをお受けしてきました。2002年、李漢芬(リ カンフン)さん 高島会員・2003年、呉 非(ウ フェ)さん 相原会員・2004年、李承美(イ スンミ)さん 水谷会員・2006年、ラカボサ クレラさん 光岡会員・2007年、李 光鎮(リ コウチン)君 池田会員・2009年、朴 宗仁(パク ジョンイン)さん 下川会員・2010年、殷 婷(イン テイ)さん 山田克子会員・2011年、安 金花(アン キンカ)さん 小山会員・2012年、姜 穎哲(キョウ エイテツ)さん 山下会員の9名です。米山奨学会に対する寄付2013年~2014年は、普通寄付・特別寄付を合わせて、732,000円です。過去の実績を合わせますと、14,706,500円になります。千里メイプルRCの青少年育成という特色が、米山奨学生のカウンセラーをお受けすることで、さらに進化するのではないでし

全会員

ようか。

4月はRC雑誌月間になっています。RI会長の黄其光氏(Gary. C. K. Huang)のお言葉をお話しさせていただきます。「4月号を読み終えたら、誰かに差し上げて下さい。今月号の記事に、特に興味を持ちそうな人は誰かを考えてみてください。友達、仕事仲間、同僚に渡しましょう。www.therotarianmagazine.comを訪れて、ソーシャルメディアで話を分かち合ったり、Eメールでリンクを送りましょう。ロータリアンが100年以上続けてきたように、ロータリーに輝きを与えるために利用しましょう」と述べられています。また2015年2月4日、東京・台場の「Japan Rotary Day II in Tokyo」でお話されたことを述べさせていただきます。「継続は力なり。ロータリーの奉仕も同様です。ロータリーデーの実施は、ロータリーについて重要なメッセージの発信です。それは、皆様の持つロータリーへの誇り、ロータリーで行う奉仕への誇りです。その誇りを、人々に示す機会なのです。」この誇りを示すことによって、ロータリーデーの真の目的である「ロータリーに輝きを」もたすことが出来るのです。5月5日のロータリーフェスティバルに参加しましょう。

<本日の演奏曲目♪>

近藤美里さん

1. ノクターン Op. 9-2 ショパン
2. パリ気分
3. My One And Only Love

<幹事報告>

木下幹事

1. ロータリーフェスティバルへの登録申し込み締め切りは本日ですので、よろしくお願ひします。

2. 今週 11 日(土)に大阪国際会議場にて次年度のための地区協議会が開催されます。出席義務のある方はご出席をよろしくお願い致します。部門別の会議室番号は、当日アテンダンスカードと共に配布されます。

3. 本日例会終了後、おしどりの間にて理事会を開催致します。今年度理事・役員の皆様はご出席下さい。

<出席報告> 山下出席担当

会員数 23 名 (内出席免除会員 4 名)
本日の出席者数 17 名 (内出席免除会員 2 名)
本日の出席率 80.95%
前々回 3 月 26 日修正出席率 80%
3 月のホームクラブ出席率 69.88%
3 月の平均出席率 80.72%

<SAA 報告> 水本 SAA 補助

※スマイル・ボックス

藤田会員：高尾会長、米山奨学生オリエンテーション参加、ありがとうございました。

村田会員：今日は主人に卓話を代わってもらいました。無理に…！

西本会員：先週の遅刻のおわび。

黒川会員：村田先生のお話が楽しみです。

コメントなし：山下会員・

※ロータリー財団寄付

藤田会員：米山奨学生肖(ショウ)君の指導教官の藤岡教授にもお逢いしました。

黒川会員：カリンの花が満開。

コメントなし：高尾会員

※米山奨学会寄付

木下健会員：また冬に逆戻りですね…。

藤田会員：2015-2016 年米山奨学生、肖玫岑(ショウミンツン)さんと顔合わせをしてきました。

コメントなし：高尾会員・岸上会員・山下会員

・西本会員・黒川会員

※メイプル基金

野崎会員：先週は花見例会楽しかったです。ありがとうございます。

高尾会員：村田紀和様、卓話よろしくお願い致します。

藤田会員：4 月 7 日還暦コンペに御参加の皆様、ありがとうございました。

村田会員：わかりやすい話になっていればいいのですが…。

西本会員：花見例会、家内の欠席おわび。

木下健会員：村田様、卓話楽しみです。

黒川会員：朝夕はまた冬!!

コメントなし：岸上会員・山下会員・水島会員

・山本友会員

※ラオス基金

水本会員：来年はラオス行けるのかな？

藤田会員：水島会員還暦コンペでは大変お世話になりました。

相原会員：山本加奈子様からメールがありました。

コメントなし：高尾会員・山下会員・黒川会員

<卓話> 『これって常識?』 村田紀和様

「体内と体外」

中世の街は城壁で囲まれ形成されていました。同じように体も城壁=皮膚により包まれ守られています。お城と体の違うところは、城は門を閉じれば中は安泰。が体は、口・肛門・肺の部分などは体の「中」にはあるけれど、厳密に言えば中ではない。空気や食べ物などの狼藉者が自由に行き来しており、胃を通過して腸まで、環境的には「体外」になります。

体の免疫機能は体外からの侵入者を阻止するためにあり、皮膚、呼吸器、消化器、特に腸に集中していますが、自分の免疫だけでは外からの悪者をやっつけられません。何によって1番守られているかというと、「常在菌」です。常在菌が外からの悪者をやっつけ追いついているのです。それが最も盛んに行われているのが腸です。

私の分野、関節リウマチをはじめとするいろいろな関節炎は、今まだ少し言われているだけですが、おそらく腸での細菌叢の乱れが免疫機能を狂わせ疾病の原因になっていると考えられています。これを踏まえ、抗生剤や消毒薬をむやみに使ってはいけないという動きが最近あります。良い常在菌までも殺すことがあるからです。抗生剤で殺される悪玉菌もいれば生きて生き残る菌もいる、ついでに善玉菌を殺してしまいかえって重大な感染症を引き起こすことになってしまいます。実はむやみに消毒液で何度も手を洗う、またはうがいをするのはナンセンスなんです。

「内の内は外」

細胞は精密な製造工場であり、かつ非常に巧妙な仕組みを持っています。細胞内にはたくさんの小器官があり、その内の最重要なものがミトコンドリアです。燐酸から効率よくエネルギーを作り出し、細胞の活動の源になっています。原始生物から高等生物までほとんどの動植物の細胞に数多く含まれています。ミトコンドリアは元々独立した細菌の一種でしたが、他の細菌とお互いの良いところを利用する「共生」を始めたことが今日の多彩な生物を生み出したきっかけといわれています。雌雄動物ではミトコンドリアは常に雌型の DNA を引き継いでいきます。細胞内小器官の中で、膵臓では強力な蛋白分解酵素であるアミラーゼが作られ、また細胞内に侵入してきた細菌を活性酸素でやっつけていますが、それらは細胞の「内の内」で行われるため細胞自身は傷害されず、丁度水の中の泡のように徐々に細胞外へ移動して排出される仕組みになっているのです。

「薬の効果と副作用」

医療用医薬品は必ず治験が行われ、プラセボ(偽薬)より有用である場合に製造が認められますが、プラセボでもだいたい30%位の効果があり、必ず副作用も伴います。治験薬の有効率、副作用率はこれら偽薬の効果、副作用も含んだ数字になっています。

「統計的有意差」

病気になる危険度は、p値のみでなく、相対危険度も加味して考える必要があります。統計学的に有意差があることと、医学的に意味があるかは別次元の問題なのです。(担当 村田)

